

平成 28 年度 技術情報第 3 号
キク（露地） アザミウマ類

平成 28 年 5 月 30 日
静岡県病虫害防除所長

県西部地域のキクほ場（露地）でアザミウマ類が多発しています。
被害の拡大が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

5月上旬に県西部地域で行ったキク（露地）の親株ほ場の巡回調査において、アザミウマ類による被害株率が46.4%（平年17.2%）と高く、特に一部ほ場で多発していた（表1、図1）。今後は本ほでの被害も予想されるため注意が必要である。

2 防除方法

- （1）親株ほ場は栽培ほ場と隔離する。また、親株での防除を徹底して穂・苗からのアザミウマ類の持ち込みを防ぐ（表2）。
- （2）育苗期～定植初期の被害が多い。また、葉が一度食害されると食害の痕が残り続けるため、生育初期段階から防除を行う。下葉や葉裏にも薬液が十分かかるよう散布を行う。
- （3）優占種のクロゲハナアザミウマはキク科やキンポウゲ科を中心とした多くの雑草に寄生するので、ほ場周辺の除草を行う。
- （4）施設栽培では出入り口や側窓部に防虫網（目合い1mm以下）を張り、侵入を防ぐ。

表1 県西部地域のキクほ場におけるアザミウマ類の発生状況

調査項目	5月上旬
被害株率	46.4
(%)	(17.2) ¹⁾
被害面積率	89.0
(%)	(85.0)

1) () 内は過去10年間の平年値を示す



図1 被害の様子

表2 キクのアザミウマ類に対する主な防除薬剤¹⁾

系統名	IRAC コード	商品名	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数
有機リン系	1B	トクチオン乳剤	散布	1000倍	発生初期	5回以内
ネオニコチノイド系	4A	アドマイヤー1粒剤	散布	3kg/10a	生育期	5回以内
		アドマイヤー フロアブル	散布	2000倍	発生初期	5回以内
		ダントツ水溶剤	散布	2000倍	発生初期	4回以内
スピノシン系	5	スピノエース 顆粒水和剤	散布	5000倍	発生初期	2回以内
フェニルピラゾール系	2B	プリンスフロアブル	散布	2000倍	発生初期	5回以内
	2B	プリンス粒剤	植溝土壌 混和	6kg/10a	定植前	1回
昆虫成長制御	15	カウンター乳剤	散布	2000倍	発生初期	5回以内
その他	21A	ハチハチ乳剤	散布	1000倍	発生初期	4回以内

1) 静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準 (<http://www.s-boujo.jp/>) に掲載されている薬剤から抜粋 (平成28年5月30日時点JPP-NET配信データによる)

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>